

1月15日 日「韓」法的地位協定粉碎
入管法再上程阻止

戦旗

12月23日
旬刊
第2頁
発行所 共産主義青年同盟
定価 40円
(送料別) (500円以内)

☆帝國主義國、後進國、「労働者国家」
三プロック階級闘争を
世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟

一年有余の党の革命を貫徹！

右翼合同反対派を蹴散らし鉄の全国党建設へ

右翼合同反対派の「逃亡の根拠は何か」

右翼合同反対派の「逃亡の根拠は何か」と問ふ事は、右翼合同反対派の政治的立場を明らかにし、その政治的立場を批判し、共産主義青年同盟の政治的立場を明らかにし、その政治的立場を批判する事である。右翼合同反対派は、右翼合同反対派の政治的立場を明らかにし、その政治的立場を批判し、共産主義青年同盟の政治的立場を明らかにし、その政治的立場を批判する事である。

野合右派(樹奈川)の脱落を踏みこえ

七一年恒常的武装闘争の進撃へ

除名者
左記の共産主義者同盟九回大会選出中
委員を同盟活動により除名を決定した。

除名者

▲第一の除名者「樹奈川」
樹奈川 樹奈川 樹奈川
▲第二の除名者「三谷」
三谷 三谷 三谷
▲第三の除名者「羽山」
羽山 羽山 羽山
▲第四の除名者「永野」
永野 永野 永野
▲第五の除名者「高野」
高野 高野 高野
▲第六の除名者「野崎」
野崎 野崎 野崎
▲第七の除名者「高見」
高見 高見 高見
▲第八の除名者「永井」
永井 永井 永井
▲第九の除名者「竹野」
竹野 竹野 竹野
▲第十の除名者「稲沢」
稲沢 稲沢 稲沢
▲第十一の除名者「鈴木」
鈴木 鈴木 鈴木
▲第十二の除名者「中島」
中島 中島 中島

一九七〇年十一月十九日
共産主義者同盟中央委員会
中央統制委員会

右翼合同反対派の「逃亡の根拠は何か」と問ふ事は、右翼合同反対派の政治的立場を明らかにし、その政治的立場を批判し、共産主義青年同盟の政治的立場を明らかにし、その政治的立場を批判する事である。右翼合同反対派は、右翼合同反対派の政治的立場を明らかにし、その政治的立場を批判し、共産主義青年同盟の政治的立場を明らかにし、その政治的立場を批判する事である。

過渡期の革命

党建設とわれわれ

この過渡期の革命は、党建設とわれわれの革命の進撃を促すものである。党建設とわれわれの革命の進撃を促すものである。党建設とわれわれの革命の進撃を促すものである。

この過渡期の革命は、党建設とわれわれの革命の進撃を促すものである。党建設とわれわれの革命の進撃を促すものである。党建設とわれわれの革命の進撃を促すものである。

ぼるしひぎ通信

新装タイプ版 第6号

破防法特集

1部100円(月二回刊行)

共産主義青年同盟評定対策委員会

お知らせ
紙旗一月三日は休刊します

共産主義青年同盟評定対策委員会

70年代階級斗争と社会党の道

荒川淳一

(一) 社民の歴史的基盤

と革命党の建設

社会党の歴史は、明治維新の自由民権運動から始まり、大正時代の労働運動、昭和初期の社会主義運動へと発展してきた。その基盤は、労働者階級と農民階級の支持にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする革命党としての道を歩んで来た。

(二) 階級斗争の到達点

と「日本型社会党」

社会党は、階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。

社会党の歴史は、明治維新の自由民権運動から始まり、大正時代の労働運動、昭和初期の社会主義運動へと発展してきた。その基盤は、労働者階級と農民階級の支持にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする革命党としての道を歩んで来た。

社会党は、階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。

社会党の歴史は、明治維新の自由民権運動から始まり、大正時代の労働運動、昭和初期の社会主義運動へと発展してきた。その基盤は、労働者階級と農民階級の支持にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする革命党としての道を歩んで来た。

社会党は、階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。

社会党の歴史は、明治維新の自由民権運動から始まり、大正時代の労働運動、昭和初期の社会主義運動へと発展してきた。その基盤は、労働者階級と農民階級の支持にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする革命党としての道を歩んで来た。

社会党は、階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。

社会党の歴史は、明治維新の自由民権運動から始まり、大正時代の労働運動、昭和初期の社会主義運動へと発展してきた。その基盤は、労働者階級と農民階級の支持にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする革命党としての道を歩んで来た。

社会党は、階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。

社会党の歴史は、明治維新の自由民権運動から始まり、大正時代の労働運動、昭和初期の社会主義運動へと発展してきた。その基盤は、労働者階級と農民階級の支持にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする革命党としての道を歩んで来た。

社会党は、階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。社会党は、この階級斗争を通じて、社会主義の理想を実現しようとする。その到達点は、労働者階級の解放と農民階級の解放にある。

元全学連委員長 久保井拓三
—被防法被告(東拘在)—

前青回委員長 岩崎史郎
—11月開審被告(東拘在)—

元全学連委員長 久保井拓三
—被防法被告(東拘在)—

前青回委員長 岩崎史郎
—11月開審被告(東拘在)—

元全学連委員長 久保井拓三
—被防法被告(東拘在)—

前青回委員長 岩崎史郎
—11月開審被告(東拘在)—

元全学連委員長 久保井拓三
—被防法被告(東拘在)—

前青回委員長 岩崎史郎
—11月開審被告(東拘在)—

元全学連委員長 久保井拓三
—被防法被告(東拘在)—

前青回委員長 岩崎史郎
—11月開審被告(東拘在)—

復刻版 980円

共産主義

元全学連委員長 久保井拓三
—被防法被告(東拘在)—

前青回委員長 岩崎史郎
—11月開審被告(東拘在)—

元全学連委員長 久保井拓三
—被防法被告(東拘在)—

前青回委員長 岩崎史郎
—11月開審被告(東拘在)—

元全学連委員長 久保井拓三
—被防法被告(東拘在)—

前青回委員長 岩崎史郎
—11月開審被告(東拘在)—

元全学連委員長 久保井拓三
—被防法被告(東拘在)—

前青回委員長 岩崎史郎
—11月開審被告(東拘在)—

赤へル叛軍三百人管闘争を 戦略的に領導



反共戦線の手部隊を先頭に闘争に闘う

「赤へル叛軍」の活動は、北朝鮮の革命戦争に重要な役割を果たしている。彼らは、北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとしている。彼らの活動は、北朝鮮の革命戦争に重要な役割を果たしている。彼らは、北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとしている。

全国叛軍連絡会議 結成大会の総括

全国叛軍連絡会議の結成大会は、北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。会議では、北朝鮮の革命戦争の現状と今後の展望について話し合われた。また、南朝鮮の反共戦線の拡大についても話し合われた。会議は、北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。



北朝鮮の革命戦争は、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。会議では、北朝鮮の革命戦争の現状と今後の展望について話し合われた。また、南朝鮮の反共戦線の拡大についても話し合われた。会議は、北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。

叛軍闘争の戦略論的位置を確認し 「全国叛軍」の更なる強化へ

叛軍闘争の戦略論的位置を確認し、「全国叛軍」の更なる強化へ。北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。会議では、北朝鮮の革命戦争の現状と今後の展望について話し合われた。また、南朝鮮の反共戦線の拡大についても話し合われた。会議は、北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。

共産主義青年同盟全国委員会

共産主義青年同盟全国委員会の活動について。北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。会議では、北朝鮮の革命戦争の現状と今後の展望について話し合われた。また、南朝鮮の反共戦線の拡大についても話し合われた。会議は、北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。



破防法と闘う講演集 獄中被告早期審選へ全力を。北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。会議では、北朝鮮の革命戦争の現状と今後の展望について話し合われた。また、南朝鮮の反共戦線の拡大についても話し合われた。会議は、北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。

山口防衛施設局を攻撃！ 125鉄の全国党書記を攻撃！

山口防衛施設局を攻撃！ 125鉄の全国党書記を攻撃！北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。会議では、北朝鮮の革命戦争の現状と今後の展望について話し合われた。また、南朝鮮の反共戦線の拡大についても話し合われた。会議は、北朝鮮の革命戦争を支援し、南朝鮮の反共戦線を拡大しようとする目的で開催された。

理論戦線

10号

絶賛発売中！ A5版32頁 450円(〒70円)

東京都千代田区三崎町2-7-6 戦旗社(振替26110)

■第一報告 Ⅰ 共産主義を組織する鉄の革命建設にむけて 日向 翔

Ⅱ 共産主義論争の止揚のために 向田 新

■叛旗派の政治的解体にむけて 和光 明

(補) 第一次共産同への自己の関りの総括と第三次共産同への道 鴨井 衆

補 過渡期世界の革命党への理論的諸問題 野田 晋

■第二報 Ⅰ 現代帝國主義論への基礎 視座 藤田 雪絵

Ⅱ 現代ソ連論序説 青木 達

Ⅲ 恒武闘争論の深化と叛軍闘争 一色 学

Ⅳ 日帝の軍事外交に對する叛軍・入管闘争の任務 中村 進

■第三報告 Ⅰ 七〇年代型地区共闘論の深化のために 城山 徹

Ⅱ 叛軍行動委建設にむけての深化のために 北見 隆

Ⅲ 第二次共産同の組織総括の深化のために 伊勢 洋

Ⅳ 社会主義学生戦線「フロント批判」 赤井 文人

□ 第四報告 Ⅰ 日本反帝戦線結成大会論議書